

令和5年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立高等学校 定時制)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	4名
事務局(教職員)	5名

学校自己評価						
領域	年度目標			年度評価(令和6年1月22日現在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 新しい時代に即した川口市立高校定時制総合学科体制の推進に向け、教育プログラムを実施している。 教員減に伴う教職員の業務負担の増加が想定される。 ICT等を活用し生徒一人一人の学びを保障する体制づくりをしている。 	<p>「キャリア教育・進路指導を核に進路実現を支援する総合学科を構築する」</p> <p>①定時制総合学科の良さを発揮するカリキュラム、指導体制を進めていく。</p> <p>②業務の効率化を図るとともに働き方改革を実施する。</p>	<p>①プロジェクトチームが策定したキャリア教育プログラムを全ての教員が確実に実施していく。</p> <p>②ペーパーレス化やICTを活用し業務の効率化を図る。</p>	<p>①キャリア教育に係る外部講師による講演を計5回実施した。「進路の手引き」を活用したキャリア教育プログラムを着実に実施した。</p> <p>②ICTを活用しペーパーレス化を実施するなど職員の業務効率化を行った。保護者との連絡手段においてHPを活用したデジタル化を実施した。</p>	A	<p>①次年度以降の「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を新しく体系化したカリキュラムに編成し直した。</p> <p>②教員定数減のため、さらなる業務のスマート化を推進する。</p>
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 不登校経験者や外国籍生徒が多く在籍している。生徒一人一人に即した学習を支援するとともに卒業後の進路に向けたキャリア教育を一層充実させる必要がある。 ICT等を活用し様々な変化に対応し学びの機会や質をより充実させる必要がある。 	<p>「新教育課程の円滑な実施を進める」</p> <p>③4年間を見通したキャリア教育を充実させ、進路決定者100%を目指す指導体制を構築する。</p> <p>④一人一人の生徒に即した学習支援体制の一層の充実を図る。</p>	<p>③進路指導部を中心に進路行事を低学年から適切な時期に効果的に実施し、生徒の進路意識の醸成、自己理解の深化を図る。</p> <p>④不登校経験者の学び直し、外国籍生徒の日本語指導など、生徒一人一人に即した指導の充実策を実施する。</p>	<p>③本校の現状を踏まえた新しい次年度以降の教育課程を編成するなど生徒の将来を見据えたカリキュラムマネジメントを行った。</p> <p>③進路決定者の割合は43名在籍中36名で、4年次生全体の84%である。(1/18現在)</p> <p>④校外行事を例年以上に実施した。情操教育だけでなく公共マナー意識を啓発することができた。</p> <p>④今年度、無欠席の生徒が35名、全体の約19%である(1/18現在)。</p> <p>④日本語教室からJLPT N1に1名合格した。</p>	B	<p>③生徒の現状を踏まえ、少人数学習、習熟度別学習などを実施したいが、教員定数等の課題がある。</p> <p>④日本語教室の生徒の出席率が低い。各担任と連携方法を改善する。</p>
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 芝西中学校陽春分校(夜間中学)を中心に外部機関との連携を一層強化する必要がある。 川口市立高校定時制の魅力発信をより一層充実させ、入学志願者の増加策を推進する。 	<p>「学校を核とした地域づくり」をめざす</p> <p>⑤夜間中学等との具体的な連携を進める。</p> <p>⑥地域のニーズを把握するとともに様々な機会を活用し定時制の魅力発信する。</p>	<p>⑤夜間中学との相互授業参観など、学習指導を中心に連携していく。</p> <p>⑥HPやSNSの活用、外部機関との連携を通し、定時制の魅力発信していく。学校説明会・学校見学の実施方法について改善策を検討する。</p>	<p>⑤⑥市産品フェア、地域清掃ボランティア、JICA地球ひろばなどと連携事業など実施した。</p> <p>⑥HPの更新回数は36回(昨年度12回)、新規にSNSを活用した情報発信をした。保護者用ページを設置し、保護者と情報共有・連携を図り、教育の質の向上を推し進めた。</p> <p>⑥学校説明会参加者数35組64名であった。説明会以外に8組学校見学・学校説明を行った。</p>	A	<p>⑤⑥夜間定時制ということもあり、外部連携が難しい。外部機関や地域社会とWin-Winな関係づくりの構築のため、情報発信、連携事業など積極的な活動を今後も継続していく。</p>
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 校内組織の中で研修をリードする組織の充実を図ることで組織的かつ計画的な研修システムを構築する必要がある。 定時制教職員数が少ないことから研修参加が難しい面がある。 	<p>「授業第一主義」</p> <p>⑦校内研修を活性化させ教職員の授業力向上を図る。</p> <p>⑧校外研修へ積極的な参加を推奨する。</p>	<p>⑦教職員の相互授業参観による研修を実施する。全日制的研修と連動した研修を実施する。</p> <p>⑧オンライン研修等、積極的に研修に参加できる体制を構築する。</p>	<p>⑦⑧今年度より公開授業週間を設け、ICTを活用した研究授業・公開授業を行うなど教員の学習指導力向上を図った。</p> <p>⑦⑧成績優秀者は1学期17名、2学期55名(昨年度1学期15名、2学期46名)であった。教科指導研究など職員の地道な研鑽による学びなおしの成果があがってきている。</p>	B	<p>⑦⑧教科指導・校務にICTスキルがさらに欠かせなくなってきた。今後も継続的に教員のICTスキルを向上させる研修を実施する。</p>
施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な学校づくりと施設の有効活用について全日制や附属中学校とスムーズな連携体制を構築する必要がある。 ICT活用の流れを後戻りさせないという意識の下、教育活動を適切に進めていく必要がある。 	<p>「施設設備の効果的活用と安全配慮」</p> <p>⑨本校特有の課題に対して安心・安全を確保する。</p> <p>⑩GIGAスクール端末やネットワーク環境をはじめ、最新鋭の施設・設備を活かした教育活動を展開する。</p>	<p>⑨自転車事故防止の登校指導、不審者・防犯対策、校内の安全確保と安全点検を行う。</p> <p>⑩ICTの効果的活用に向けた教職員のリテラシー向上を図る。</p>	<p>⑨防災訓練を2回実施した。</p> <p>⑨校内の防犯対策の見直し、自転車点検、登校指導を実施するなど安全指導を行った。</p> <p>⑩ICTに係る教員研修を2回実施した。</p>	A	<p>⑨次年度以降も付属中、全日制と連携して生徒の防災意識の高揚を継続していく。</p> <p>⑩ICT活用について生徒の状況を踏まえ、検討して実施する。</p>

学校関係者評価	
※実施日	令和6年1月22日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>①定時制生徒の現状を踏まえ、新しく体系化された「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を実施し、キャリア教育を推し進めください。</p> <p>②保護者の手元に保護者宛文書が届かない場合があり、デジタル化により情報共有が図られることはありがたい。さらに保護者との連携を行い、学校教育の質を向上させてください。</p>	
<p>③④無欠席者数が多く、生徒にとって定時制は魅力あり、居心地にいい場所であることが分かった。引き続き生徒に寄り添った指導をお願いしたい。</p> <p>③④外国籍、外国にルーツのある生徒への支援を市行政でも行っているの、今後も学校と連携した取り組みをさらに推し進めていく。他の学校以上に多文化共生、多様性を学べる学校であり、素晴らしいと思う。</p>	
<p>⑤⑥夜間定時制で外部連携が難しい状況であるが、外部連携をよく行っている。今後は受身的な体験活動だけではなく、生徒自ら主体的な体験活動があるとさらによい。校内の附属中学校、全日制との連携事業も、今まで以上に続けてほしい。</p>	
<p>⑦⑧⑩授業を視察させていただき、全日制に負けず劣らず、ICTを活用した授業に取り組んでいることが分かった。保護者として安心するとともに感謝している。ICTに係る教職員研修を継続して続け、さらにICTを活用した授業をお願いしたい。また校内だけの授業公開だけでなく保護者・外部対象の授業公開をぜひ実施してほしい。</p>	
<p>⑨防災訓練、自転車通学の指導など十分に行っており、生徒の安全を第一に考えた指導を行っている。今後はさらに若者に係るお金のトラブルや闇バイトなど生徒が様々な犯罪に巻き込まれないように指導を継続してほしい。</p>	